



集合写真



まちなかの風景

令和5年10月14日(土)に第41回中国ブロック大会サザンセトやない大会が、柳井YEG主催にて、大会テーマを「笑来くさんさい みんさい よりんさい」と掲げ、「苦しむ時こそ笑顔で乗り切れれば、必ず明るい将来にたどり着けるはず」との思いで開催されました。大型バスを貸し切り、鳥取YEGより総勢29名で参加してまいりました。

開催地は山口県柳井市、鳥取よりバスにて約5時間の道のりです。広島市内にて前泊、当日は朝から分科会へ参加、式典、大懇親会と参加し、初めて訪れる柳井の魅力を目一杯感じてきました。柳井市は、白壁の街並みに可愛らしい金魚ちようちんが映え、歴史を感じる風情が残るまちで、会場すぐそばに醤油蔵があり甘露醤油という昔ながらの製造法で作られた醤油、それを使ったアイスクリームやケーキなどもありました。決して大きくはないまちですが、今大会を主催する柳井YEGの皆さんの、郷土を愛する気持ちやおもてなしの心を存分に感じた1日となりました。

次回開催地は、鳥根県益田市と発表されました。YEG会員だからこそ感じられるまちや人の魅力、また中国ブロック大会の活気を多くの会員にぜひ感じてほしいと思います。

専務理事 田村 康悦

**日本商工会議所青年部
 第41回中国ブロック大会
 サザンセトやない大会**



委員長挨拶



交流会の様子

10月4日、結婚式場鳥取ヴェルージュにて第一回ビジネス交流会を行いました。

今回はYEG会員のみでなく一般企業の方々にもご参加いただきました。

参加者120名と沢山の方により活発な名刺交換が行われ、YEGと一般企業を結びつけになりました。YEGは単なる組織というだけでなく、ビジネスコミュニティの一員としての役割を果たせたと思います。交流会後のアンケートの評価も好評で、参加された一般企業の方へYEGの魅力を感じてもらえた会にもなりました。

一般企業を含めた交流会は4年前から立案されておりましたがコロナ禍での延期を余儀なくされておりました。歴代の会員増強委員会の思いが詰まった事業でしたので今回開催できたこと、さらに120名の動員により大盛り上がりで事業が出来たことがとてもうれしく思います。今後の活動においても皆様と共に歩んでいけることを楽しみにしております。

会員増強委員会 委員長 田中将樹

**第一回ビジネス交流会in
 ヴェルージュ**

鳥取YEGでは
**鳥取を盛り上げる方
 募集中!!**

鳥取 YEG は、地域を支える青年経済人の集まりであり、一緒に鳥取を盛り上げていただける方を随時募集しています。

次世代を担う立場として、熱意を持って一緒に頑張りませんか?! 鳥取 YEG で出会う「縁」を「運」に変えて、企業と地域を活性化させましょう!
 お気軽にお問い合わせ下さい。

TEL:0857-32-8004

(鳥取商工会議所青年部 事務局)



鳥取 YEG 通信

TOTTORI YOUNG ENTREPRENEURS GROUP
 発行: 令和5年11月15日
 鳥取商工会議所青年部
 広報ブランディング委員会
鳥取商工会議所青年部通信

令和5年度
会長あいさつ

鳥取商工会議所青年部
 会長 **井上 直樹**
 株式会社 井上機械

日に日に秋が深まり少しずつ冬の訪れも感じられる季節となりました。

鳥取でこの季節の句ののといえ松葉力二が一番に挙げられます。松葉力二は鳥取の歴史とも深く結びついており、古くは1782年に津山藩への贈答品目録として登場するなど、江戸時代より親しまれてきたようです。今日では持続可能な漁が出来るように様々な漁獲規制が行われていますが、松葉力二の資源を保護し将来の世代にも美味しく楽しめるようになればと思います。

さて鳥取商工会議所青年部は10月4日に、会員内外120名もの多くの方に参加いただき、第一回ビジネス交流会を行いました。鳥取YEGでこのような交流会を開催するのは初の試みでした。鳥取でビジネスをしようとするか、人とのつながりを豊かにすることで企業や地元社会の課題の解決やより良い暮らしを目指すことができると思います。

今回多くの外部企業の方にも鳥取YEGの魅力や雰囲気を知っていただけましたし、異業種交流の大切さも感じていただけたと思います。

10月9日には鳥取商工会議所45周年記念事業でもありますビジネスプラン

コンテストを行いました。昨年度より参加いただいた鳥取城北高等学校、青翔開智高等学校に加え、今回初めて参加いただいた、鳥取東、今回事業、鳥取商業高等学校、鳥取工業高等学校の総勢5校、9チームにご参加いただき45周年記念事業として盛大に開催されました。

このビジネスプランコンテストは、YEGの会員企業と高校生をマッチングし各企業からの抱える課題や悩みを高校生ならではの突破力と発想力で解決に導くプランを発表してもらうというものです。

当日は鳥取商工会議所西垣副会頭をはじめ、鳥取県庁よりとり未来タスクフォース兵江様、鳥取銀行より花房部長様、各鳥取市青年団体の皆様と若手の審査員をお招きし、実現性、市場性、地域性及び時代反映性、獨創性、将来性、プレゼンテーション能力の6項目で審査していただきました。

今回高校生が企業の課題を分析、解決していく上で次世代を担う高校生の柔軟な発想で、新たな価値を作っていくことが鳥取YEGのビジョンにも掲げられている「日本唯一の賑わい」につながっていくのだと確信しました。また、参加した高校生たちは将来新たな価値を生み出せる大人になり、今後のキャリアにおいて十分に自分の力を発揮することが出来るでしょう。そしてチームの仲間とビジネスプランを考えることや、熱い想いを持った地元経営者と接点を持つことで、自分のキャリアについて真剣に考えるキッカケ、「夢を掴むキッカケ」になれば嬉しいと考えます。

今後も鳥取商工会議所青年部は鳥取の商工業発展を目指し前進していきます。



コンテストの様子



表彰式

令和5年10月9日(月)ビジネス委員会が担当する10月例会が鳥取YEG45周年記念事業第2回鳥取YEGビジネスプランコンテストとして、とりぎん文化会館小ホールで開催されました。

鳥取YEGのビジネスプランコンテストは、一般的なものと違い、高校生とYEG企業をマッチングし、企業の悩みや課題を高校生の柔軟な発想力と突破力で解決に導くという鳥取YEG独自のビジネスプランコンテストとなっております。

第2回目の開催となったビジネスプランコンテストはスケールアップをし、鳥取市内の高等学校5校・全9チームのエントリーとなりより多くの高校生と、より多くのYEG企業にご参加いただきました。

参加した高校生は控室で陣を組んでチーム全体を鼓舞したり、大勢の観客を前に緊張し表情が強くなる生徒など様々でしたが、普段の生活では得られない貴重な経験をすることで自己成長の機会を得られたと思います。

また、YEG会員や企業は高校生の発表したビジネスプランから新しい発見や解決の糸口を見出すことができたことでしょうか。

最後に関わっていただいた全ての方々に感謝し、鳥取YEGビジネスプランコンテストが素晴らしい鳥取の未来を創造する一助になることを願っています。

ビジネス委員会 委員長 池上裕樹

**11月例会・第2回鳥取YEG
 ビジネスプランコンテスト開催**